

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	データ分析手法	
科目基礎情報					
開設学科	医療事務科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	高野 泰志		実務経験の有無・職種	有・医事課長	
学習目的					
医療機関では膨大なデータを扱うことになる。それらのデータの活用と、あらゆる切り口でのデータ抽出により、経営や業務改善のきっかけをつかめ、データ分析による具体的な数字を示すことにより、説得力のある改善提案をすることができ。様々なデータの分析でき、改善案を出せることを目的とする。					
到達目標					
クロス集計、ロジスティック回帰分析、決定木分析、アソシエーション分析、クラスター分析等の代表的なデータ分析手法を取り上げ、理論と実践の両面から知見とスキルを習得をも目標とする。					
教育方法等					
授業概要	診療情報管理士に求められるデータ分析手法の基本的な知識を習得するとともに、演習を通じて各種分析手法の活用方法を学びます。				
注意点	パソコンを使用してデータの分析手法を学ぶ。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		オリエンテーション、データ分析入門		
2回	クロス集計（1）		クロス集計とは		
3回	クロス集計（2）		クロス集計演習①		
4回	クロス集計（3）		クロス集計演習②		
5回	回帰分析（1）		回帰分析とは		
6回	回帰分析（2）		ロジスティック回帰分析演習①		
7回	回帰分析（3）		ロジスティック回帰分析演習②		
8回	決定木分析（1）		決定木分析とは		
9回	決定木分析（2）		決定木分析演習①		
10回	アソシエーション（1）		アソシエーション分析とは		
11回	アソシエーション（2）		アソシエーション分析演習①		
12回	クラスター分析（1）		クラスター分析とは		
13回	クラスター分析（2）		クラスター分析演習①		
14回	演習課題（1）		総合演習①		
15回	演習課題（2）		総合演習②		